

JACのアワードをいただいて

ハットの花尾俊竹です。

2011年度のリマーカブル・プロダクションマネージャー・オブ・ザ・イヤーを受賞させていただきました。

応募の動機は、会社からの推薦です。

当時は入社3年目。現在では考えられないような働き方（笑）で毎日のがむしゃらに過ごしていました。

私が当時担当した作品は、パナソニックの充電式乾電池「EVOLTA（エボルタ）」の性能を実験・PRする企画で、単3型乾電池12本を搭載した小型ロボット「エボルタ」が充電を繰り返しながら、東京・日本橋～京都・三条大橋の東海道五十三次、53カ所の宿場を走行するというものでした。

走行の様子をユーストリームで生中継し、その様子を毎週TVCMとしてO.A.していくなかで、走行ルート上に応援していただく方がだんだんと増えていき、普段の制作現場では味わえないユーザーの生のリアクションを目の当たりにすることができました。とても素敵な体験で、今でも忘れられません。

いまだに自分がグランプリを受賞したことが信じられないのですが、受賞させていただいたことで少しだけ自分の普段の業務が認められたように感じたと同時に、それはスタッフや会社のみんな、そして家族のおかげなんだと改めて実感することになりました。

受賞のメリットですが、初めてのお客さんやスタッフと話をする際の話のタネにさせてもらっています。

（正直、自己PRは苦手なので、上司が私のことを紹介する際に受賞歴に触れるとき限定ですが。）受賞してもしなくても仕事を頑張ることには変わりないので、普段は受賞歴を一旦自分の記憶から消去して、日々の業務に精進しています。

自分をPRしたい。会社に言われたから。応募の理由は色々だと思います。

私は人見知りなので授賞式で知り合いを作ったりは出来ませんでした（笑）

それでも他社の同年代の仕事っぷりを知れて良い刺激になりましたし、

自分のこれまでとこれからを考える良いきっかけにもなりました。

皆様のご応募お待ちしております。

ハット

花尾俊竹